

8 公害苦情

平成22年度に受付した公害苦情件数は138件で、前年度の151件に比べ13件減少しました。

公害の種類別の内訳は、大気汚染20件(14.5%)、水質汚濁35件(25.4%)、騒音・振動38件(27.5%)、悪臭29件(21.0%)となっており、大気汚染や悪臭に関する苦情件数が減少していることが、ここ5年程の公害苦情件数の減少に反映しています。一方、水質汚濁や騒音・振動に関する苦情件数に大きな変化は見られず、結果として大きな割合を占めるようになりました。

地域的には、準工業地域の36件と最も多く、次に第1・2種中高層住居専用地域の30件、市街化調整区域・その他の区域の29件の順となっており、第1種住居地域等を含めた住居地域での苦情件数が昨年度より20件増加しました。

事業系発生源は製造業の22件、建設業の20件とほぼ同じ件数ですが、野外焼却や油の漏洩など家庭生活から起因したものが29件と多いことも特徴的です。

図8-1-1 公害苦情件数の推移

